

## 第 2 章

### 子育て家庭を取り巻く環境



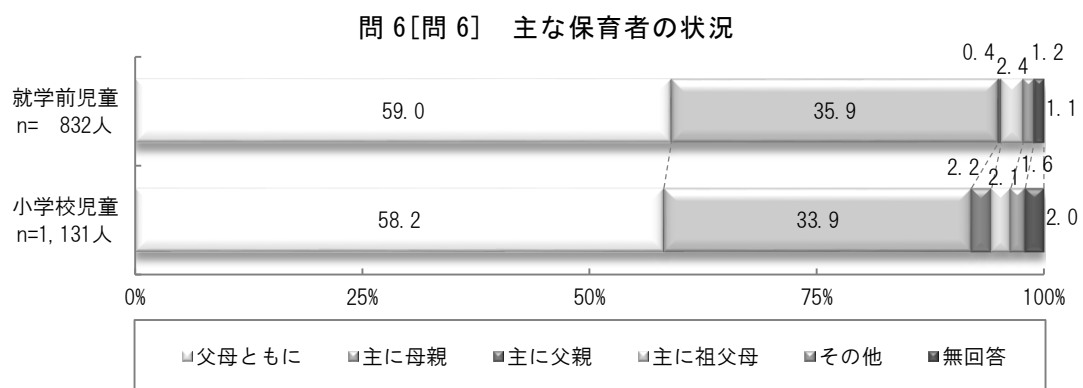
## 第2章 子育て家庭を取り巻く環境

### 1 子育ての環境について

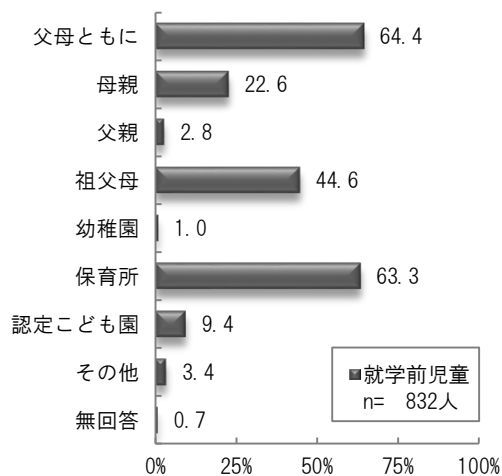
#### (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

主な保育者の状況をみると、就学前児童では「父母ともに」(59.0%)と「主に母親」(35.9%)が大半を占めています。小学校児童でも「父母ともに」(58.2%)と「主に母親」(33.9%)と同じような傾向となっています。

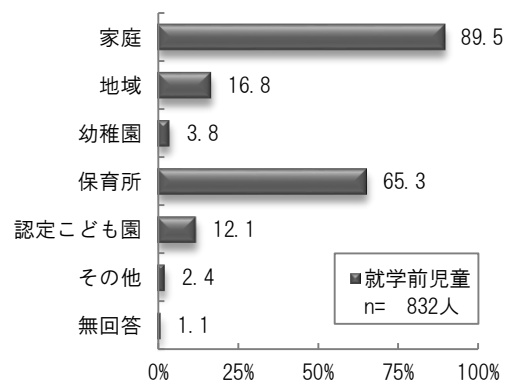
就学前児童では、こうした状況の中で日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、「父母ともに」(64.4%)、「保育所」(63.3%)、「祖父母」(44.6%)、「母親」(22.6%)の順に多くなっています。また、子育てに影響を与える環境は、「家庭」(89.5%)が最も多く、次いで「保育所」(65.3%)、「地域」(16.8%)、「認定こども園」(12.1%)の順に多くなっています。



#### 問7 日常的に子育てに関わっている方(施設含む)



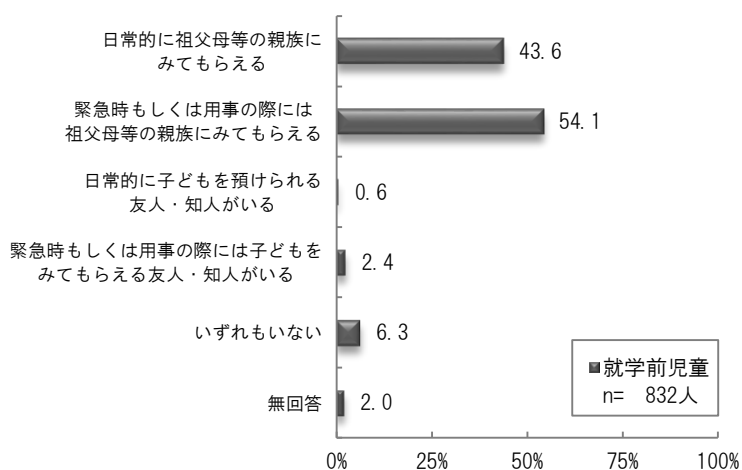
#### 問8 子育てに影響を与える環境



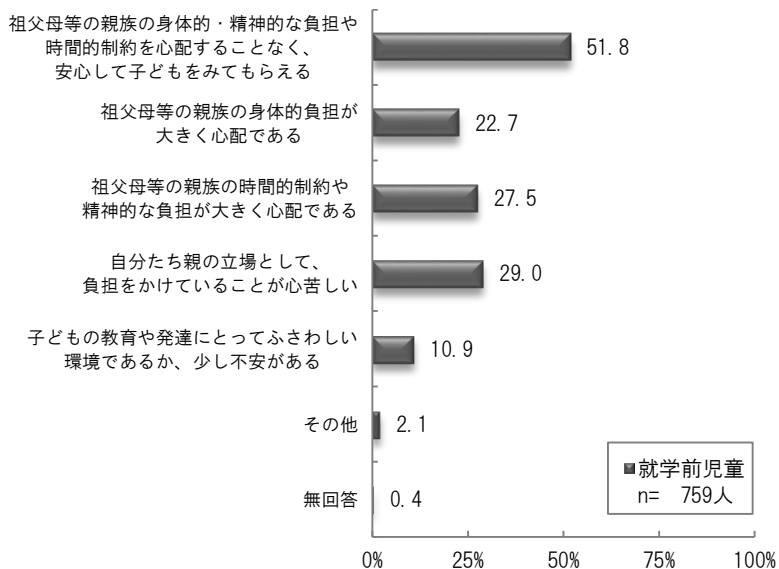
主な親族等協力者の状況をみると、就学前児童では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(54.1%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(43.6%)の順に多くなっています。

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、就学前児童では「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」方(51.8%)がいる一方で、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(50.2%)もほぼ同数います。また、友人・知人に預かってもらうことへの考えに対して、就学前児童では「友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」方(62.5%)がいる一方で、友人・知人の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(4.2%)はごく少数となっています。

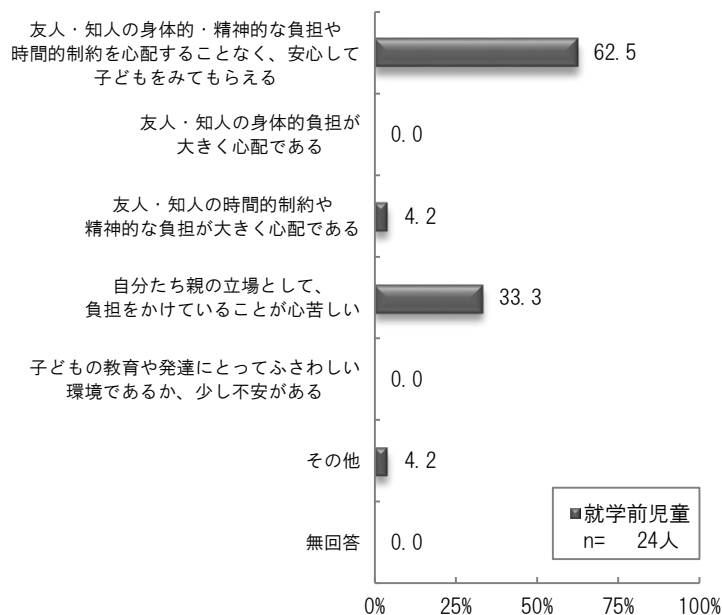
### 問9 主な親族等協力者の状況



### 問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



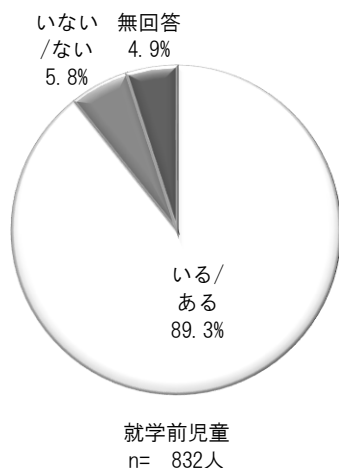
問 9-2 友人・知人に預かってもらうことへの考え



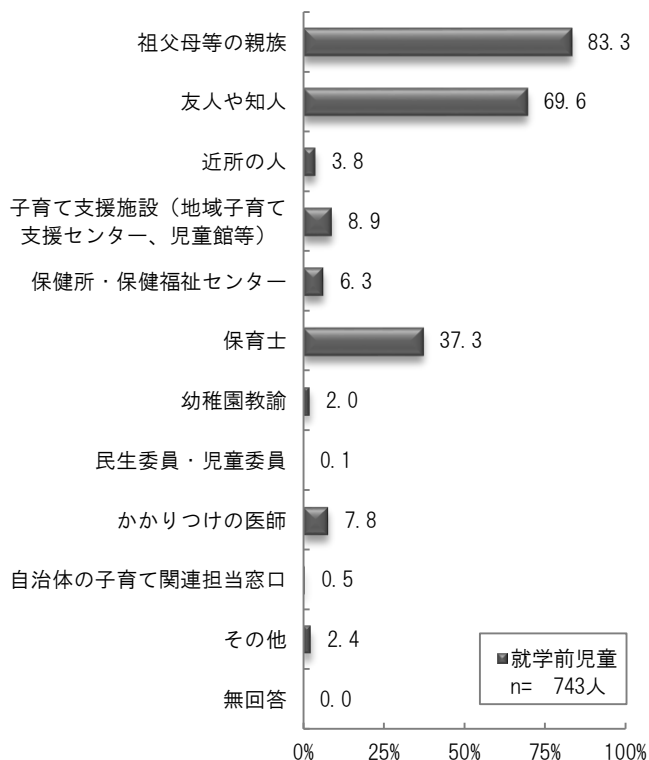
(2) 子育てに関する相談者の状況

気軽に相談できる人の有無をみると、就学前児童では「いる／ある」(89.3%)とほとんどの方が「いる」または「ある」と回答しています。その相談できる相手としては、就学前児童で「祖父母等の親族」(83.3%)、「友人や知人」(69.6%)、「保育士」(37.3%)の順に多くなっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽にできる相談者の状況

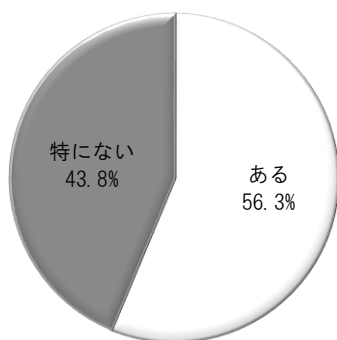


### (3) 出産について

出産・育児に際して不安に思うこと・知りたいことについては、出産を控えた16人中9人が「ある」(56.3%)と回答し、そのうち相談相手がいる方は4人(44.4%)となっています。その相談できる相手としては、3人が「同居の家族・親族」「友人・知人」「医師・看護師」と回答しています。

妊娠中・出産・育児についての知識の習得先は、「インターネット」(33.3%)、「医師・看護師」「雑誌」(各27.5%)の順に多くなっています。

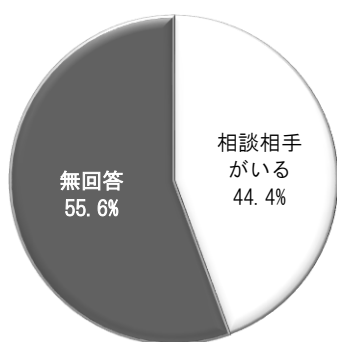
〈問4〉 出産・育児に際して不安に思うこと・知りたいこと



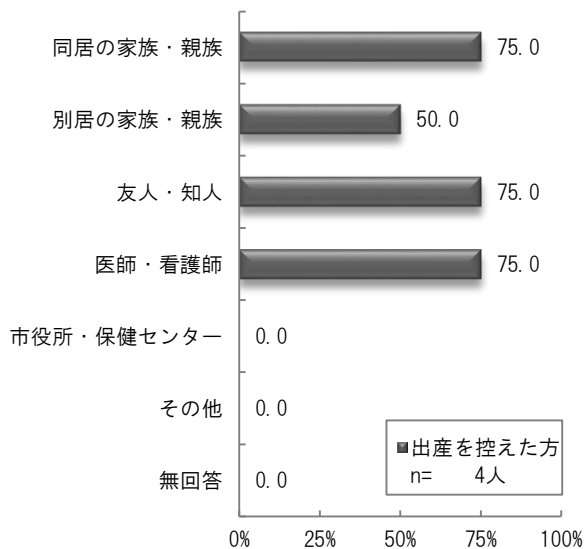
出産を控えた方  
n= 16人

※ ある方の内容は、第5章に記載しています。

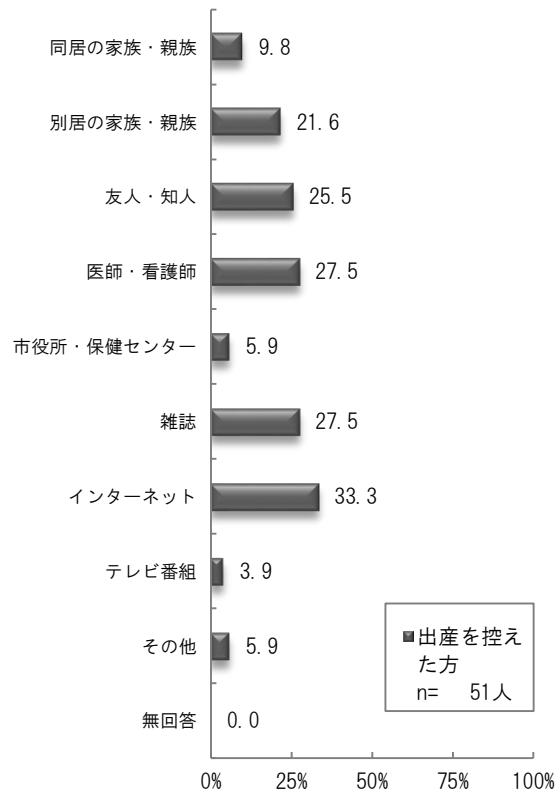
〈問4-1〉 不安などを相談する相手



出産を控えた方  
n= 9人



〈問5〉 妊娠中・出産・育児についての知識の習得先



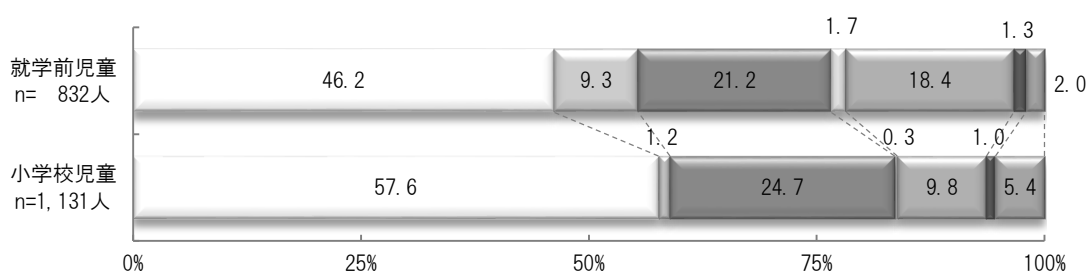
## 2 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

母親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(46.2%)をはじめ8割弱の方が就労し、現在産休・育休・介護・その他休業中の方が11.0%います。

小学校児童では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(57.6%)をはじめ8割強の方が就労し、現在産休・育休・介護・その他休業中の方が1.5%と前者と比べて大きく減少しています。

問 11(1) [問 7(1)] 母親の就労状況



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

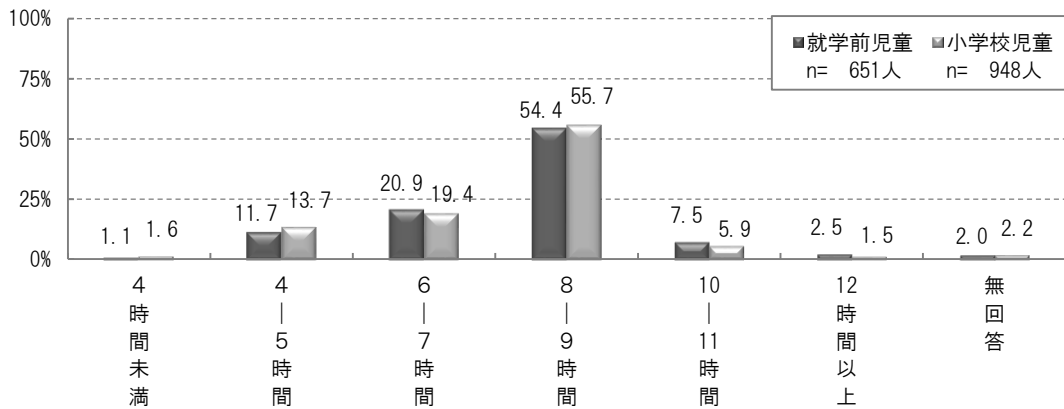
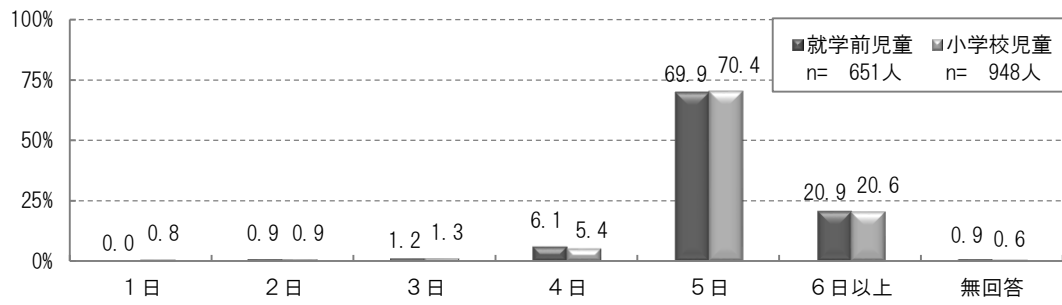
母親の就労日数・就労時間をみると、就学前児童では「5日」(69.9%)、「8-9時間」(54.4%)、小学校児童では「5日」(70.4%)、「8-9時間」(55.7%)が最も多く、両者ともに「6日以上」が2割程度います。

母親の出勤時間は、就学前児童では「7時台」(46.4%)、「8時台」(32.9%)、「9時台」(4.6%)の順、小学校児童では「8時台」(39.3%)「7時台」(39.0%)、「9時台」(6.3%)の順に多くなっています。

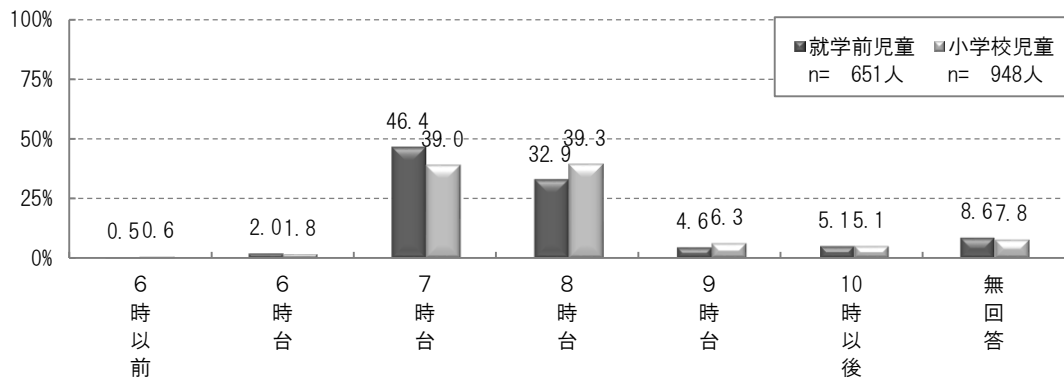
帰宅時間は、就学前児童・小学校児童ともに「18-19時台」(就学前児童46.4%・小学校児童42.3%)、「16-17時台」(就学前児童26.7%・小学校児童28.5%)の順に多く、両者ともに20時以後の帰宅は3%前後となっています。



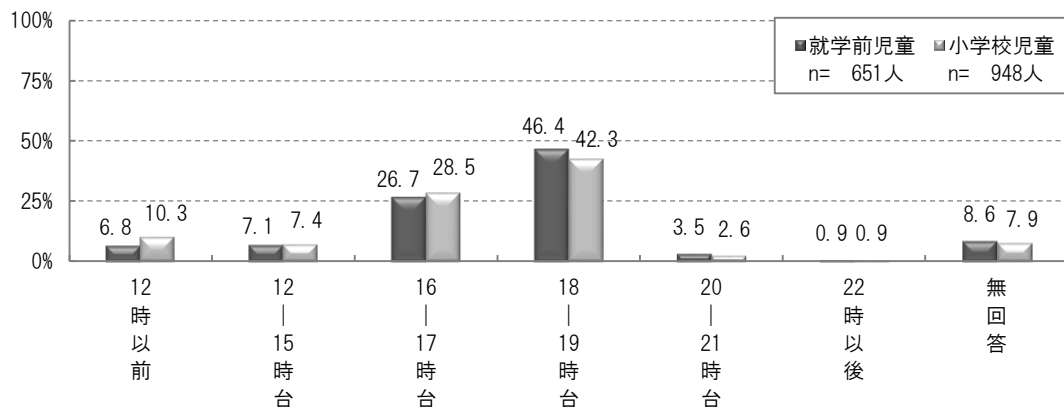
問 11(1)-1[問 7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）・就労時間（1日当たり）



問 11(1)-2[問 7(1)-1] 母親の出勤時間



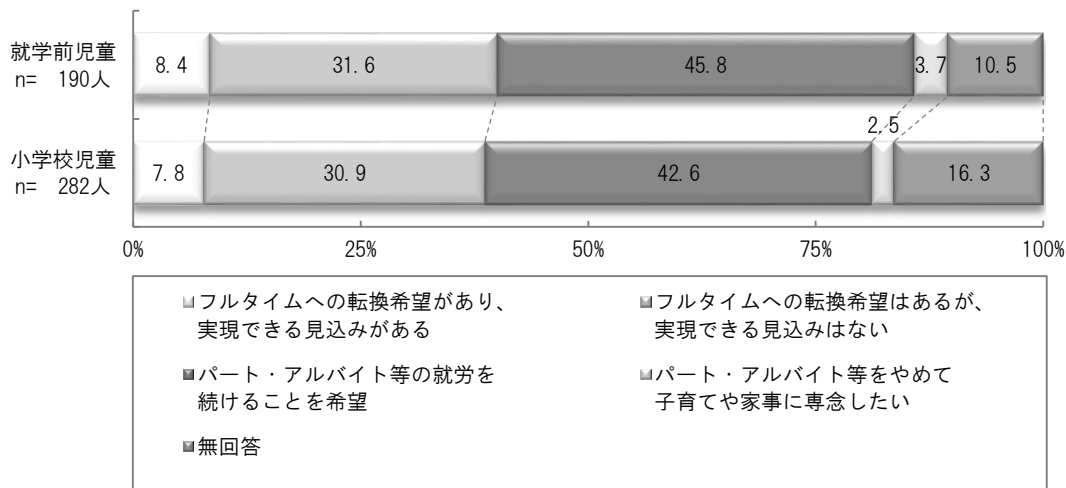
問 11(1)-2[問 7(1)-1] 母親の帰宅時間



母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は 40.0%いますが、実現できる見込みのある方は 8.4%と1割弱に留まっています。

一方、小学校児童でもフルタイム勤務を希望する方は 38.7%いますが、実現できる見込みのある方は 7.8%と前者と同様に1割弱に留まっています。

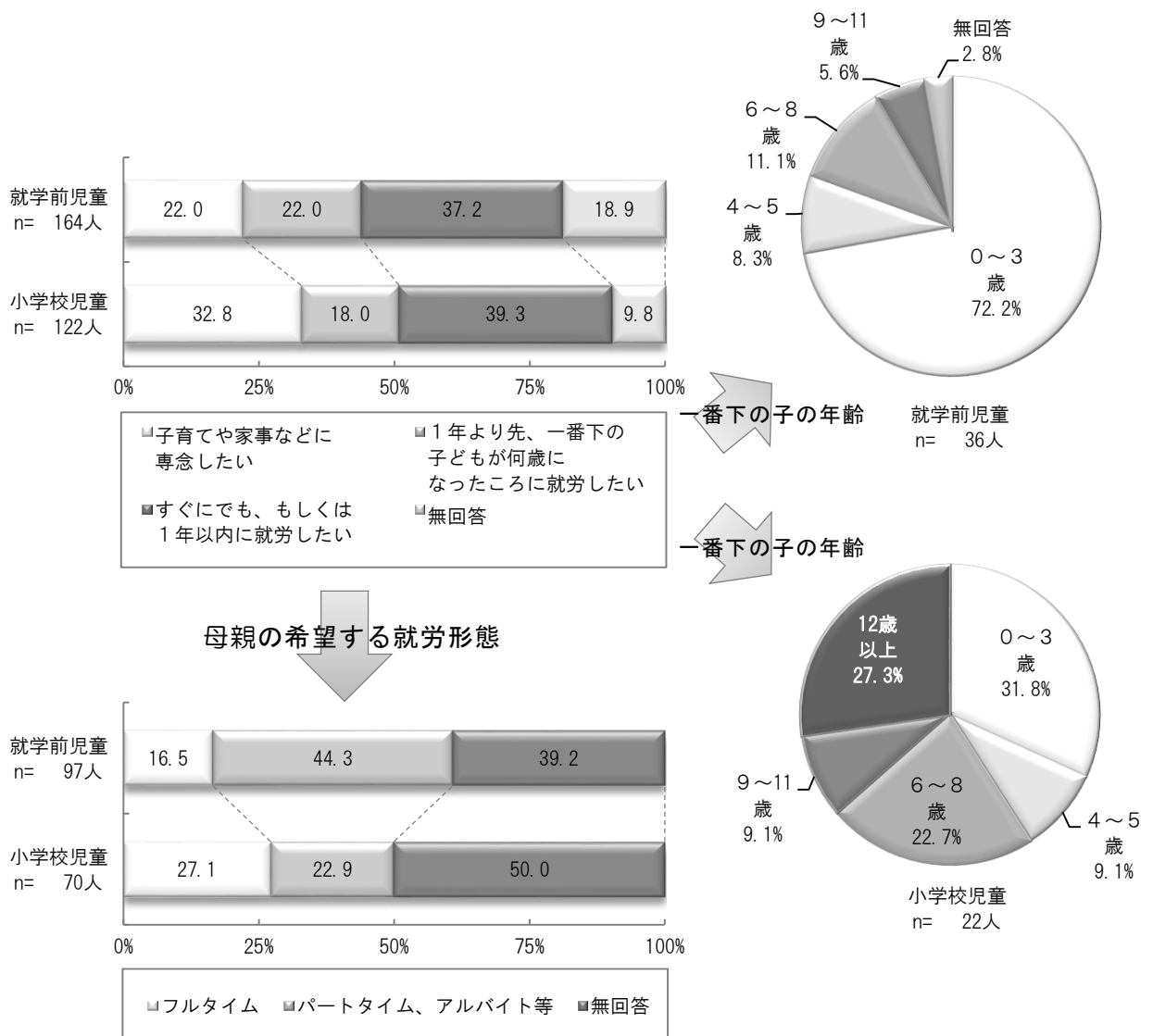
問 12(1) [問 8(1)] 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



就労していない母親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前児童では就労したい方が 59.2%おり、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(22.0%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(37.2%)、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(44.3%)、「フルタイム」(16.5%)となっています。就労時期となる子どもの年齢としては「0～3歳」(72.2%)、「6～8歳」(11.1%)、「4～5歳」(8.3%)の順となっています。

小学校児童では就労したい方が 57.3%おり、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(18.0%)、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(39.3%)、就労形態は「フルタイム」(27.1%)、「パートタイム、アルバイト等」(22.9%)となっています。就労時期となる子どもの年齢としては「0～3歳」(31.8%)、「12歳以上」(27.3%)、「6～8歳」(22.7%)の順となっています。

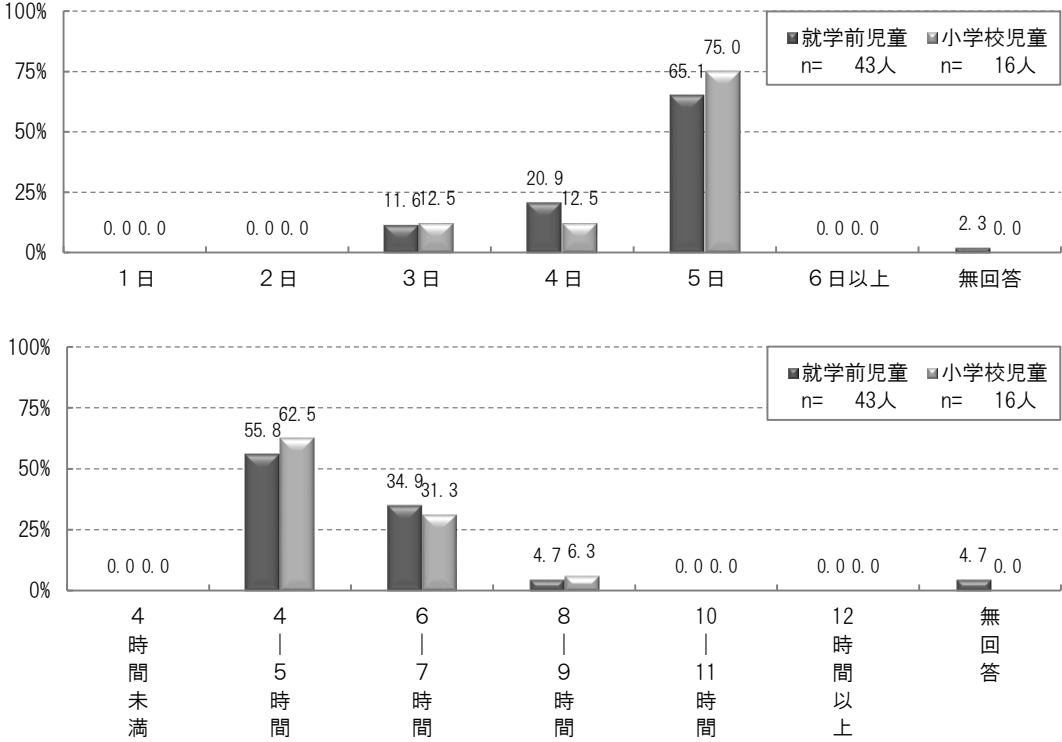
問 13(1) [問 9(1)] 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



母親の希望する就労形態をみると、就学前児童では就労日数は「5日」(65.1%)、「4日」(20.9%)、「3日」(11.6%)の順、就労時間は「4-5時間」(55.8%)、「6-7時間」(34.9%)の順となっています。

小学校児童では、就労日数は「5日」(75.0%)、「3日」「4日」(各12.5%)の順、就労時間は「4-5時間」(62.5%)、「6-7時間」(31.3%)の順となっています。

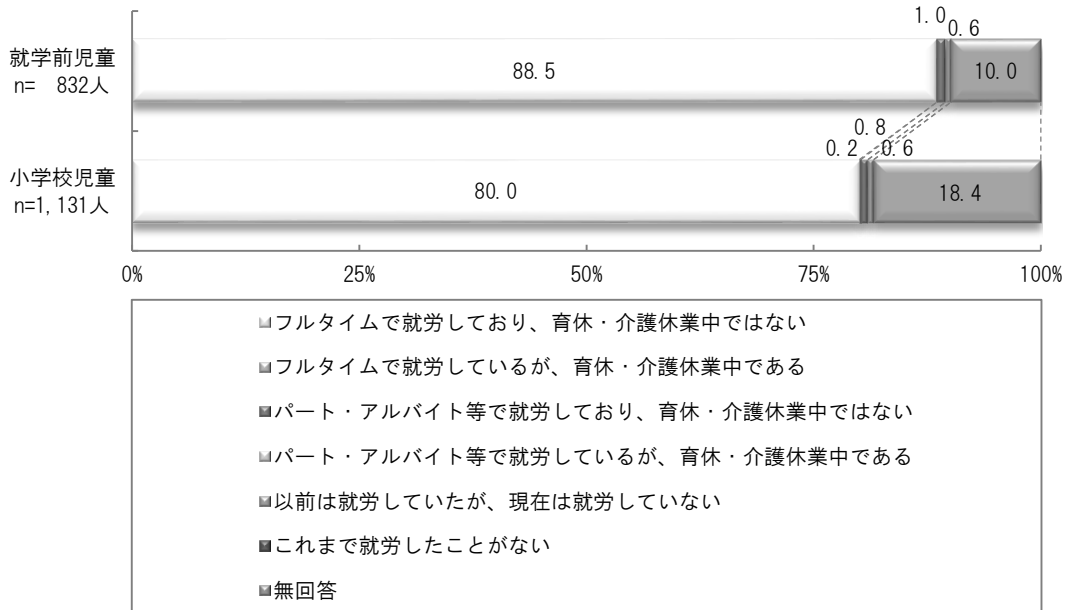
問 13(1)-2[問 9(1)-2] 母親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)



(2) 父親の就労状況

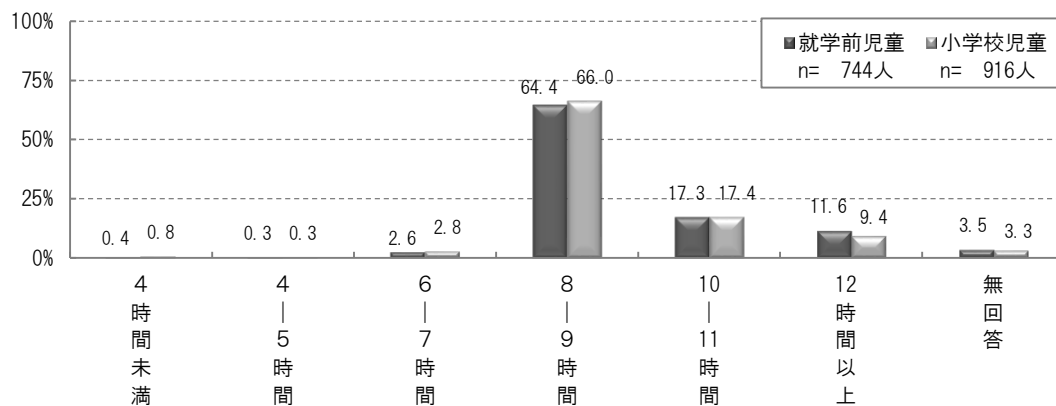
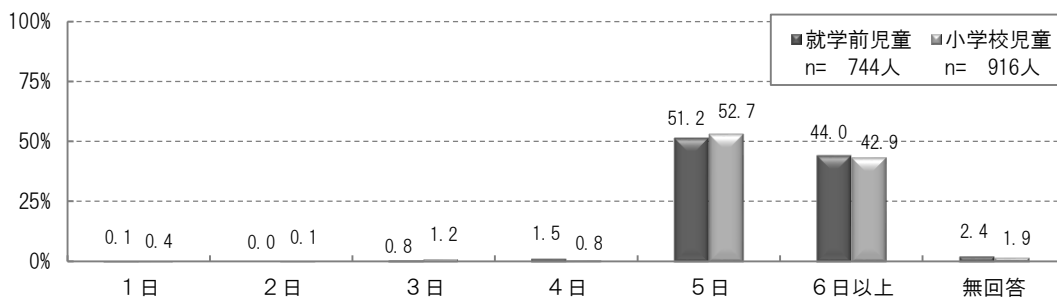
父親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(88.5%)で最も多くなっています。  
 小学校児童では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(80.0%)と前者と同様に最も多くなっています。

問 11(2) [問 7(2)] 父親の就労状況

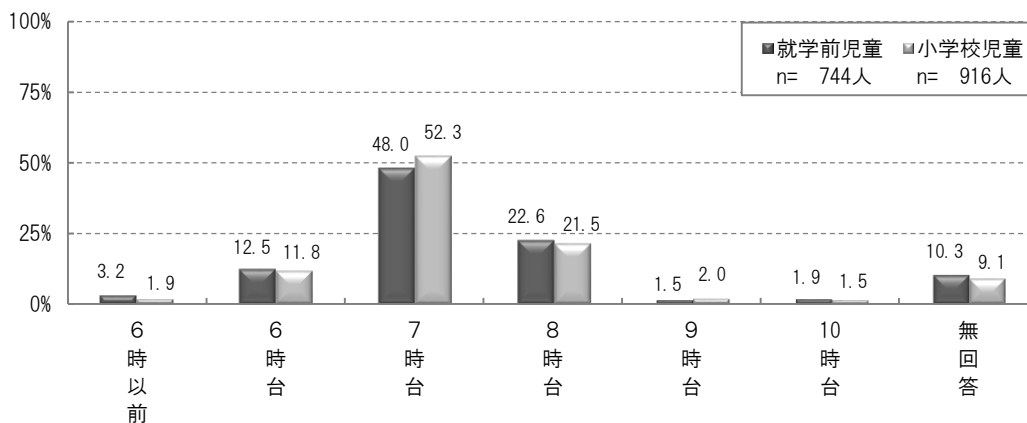


父親の就労日数・就労時間をみると、就学前児童では「5日」(51.2%)、「8-9時間」(64.4%)、小学校児童では「5日」(52.7%)、「8-9時間」(66.0%)が最も多く、両者ともに「6日以上」(40%台)、「10-11時間」(2割弱)、「12時間以上」(1割前後)となっています。  
 父親の出勤時間は、就学前児童・小学生児童ともに「7時台」(就学前児童 48.0%・小学生児童 52.3%)、「8時台」(就学前児童 22.6%・小学生児童 21.5%)、「6時台」(就学前児童 12.5%・小学生児童 11.8%)の順に多くなっています。  
 帰宅時間は、就学前児童では「18-19時台」(46.4%)、「20-21時台」(16.4%)の順、小学校児童では「18-19時台」(47.3%)、「16-17時台」(14.1%)の順に多く、両者ともに22時以後の帰宅は3%台となっています。

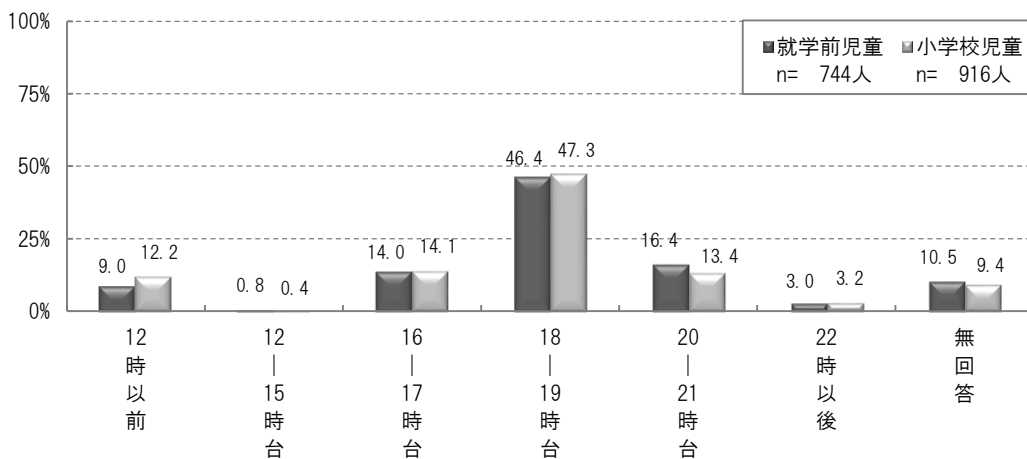
問 11(2)-1[問 7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）・就労時間（1日当たり）



問 11(2)-2[問 7(2)-1] 父親の出勤時間



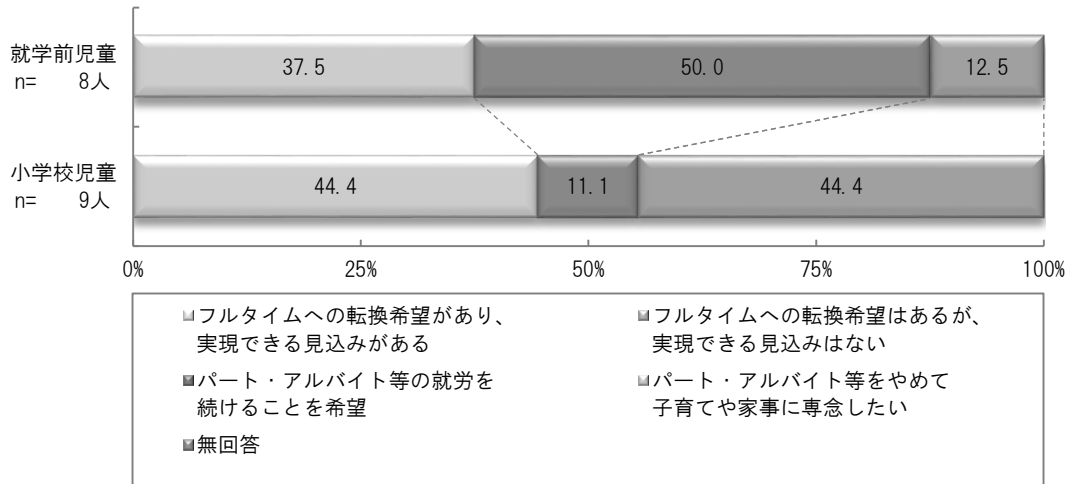
問 11(2)-2[問 7(2)-1] 父親の帰宅時間



父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は3人いますが、実現できる見込みのある方はいませんでした。

小学校児童ではフルタイム勤務を希望する方は4人いますが、実現できる見込みのある方はいませんでした。

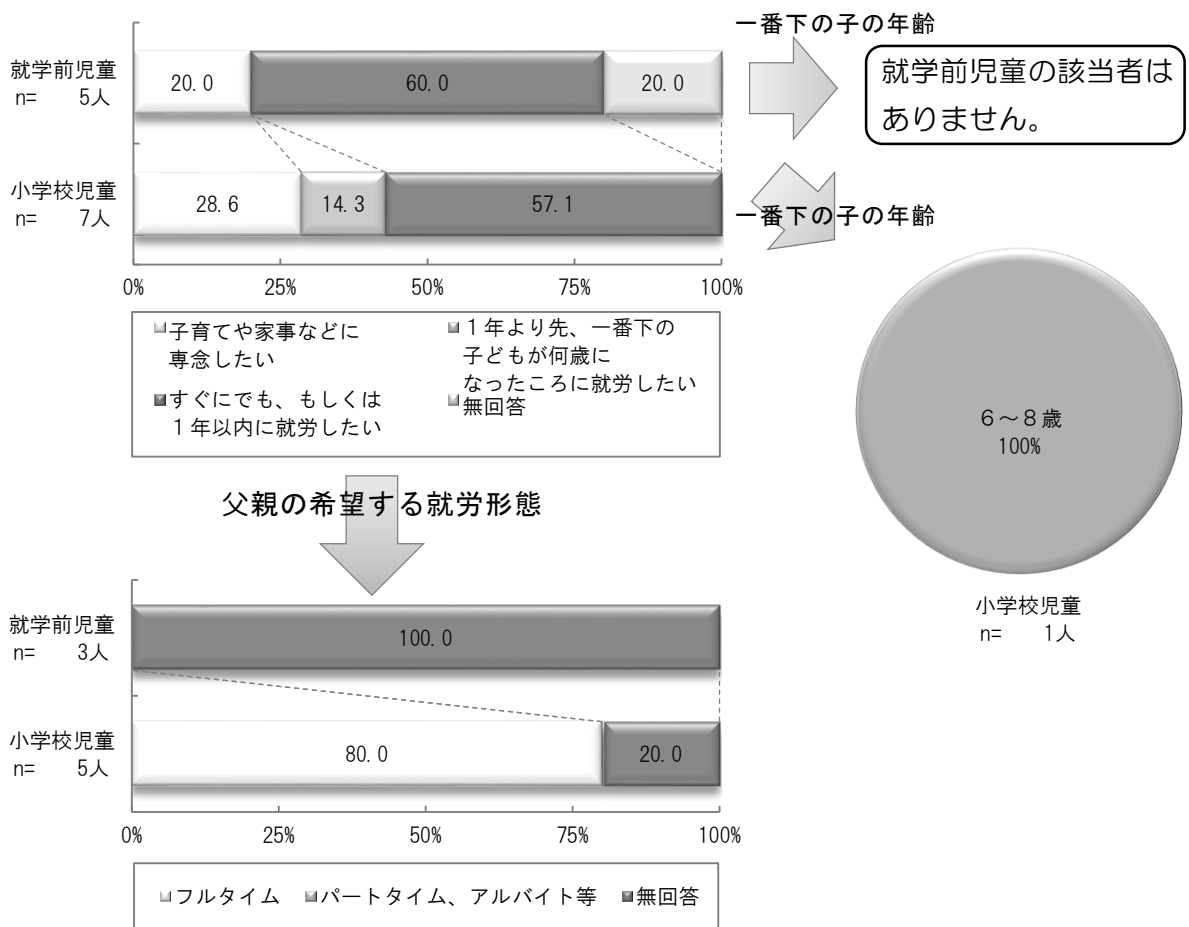
問 12(2) [問 8(2)] 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



就労していない父親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前児童では就労したい方が3人おり、その全員が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答し、就労形態については回答がありませんでした。

小学校児童では就労したい方が5人おり、4人の方が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答し、1人の方が「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」と回答しています。就労形態については4人の方が「フルタイム」を希望しています。就労時期となる子どもの年齢としては、1人の方が「6～8歳」と回答しています。

問 13(2) [問 9(2)] 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢

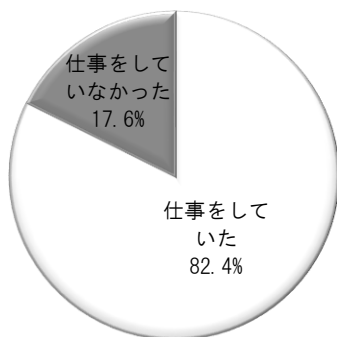




(3) 出産を控えた方の就労状況

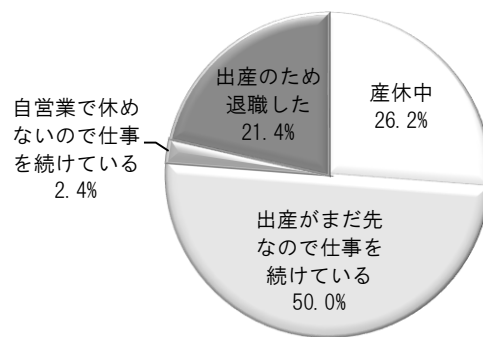
妊娠前の就労状況をみると、82.4%の方が「仕事をしていた」と回答し、そのうち「出産がまだ先なので仕事を続けている」(50.0%)、「自営業で休めないの  
で仕事を続けている」(2.4%)と半数以上の方が仕事を続けています。  
仕事をしていなかった方や退職した方の出産後の就労希望をみると、「ある程  
度の期間育児をした後で仕事をしたいと思っている」(50.0%)が最も多くなっ  
ています。また、出産後の仕事の際、子どもを預ける必要性について聞いたとこ  
ろ、ほとんどの方が「預ける必要がある」(90.9%)と回答しています。

〈問6〉 妊娠前の就労状況



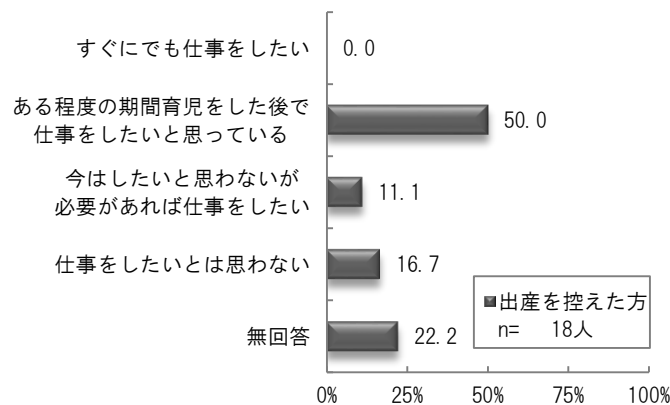
出産を控えた方  
n= 51人

〈問7〉 仕事をしていただ方の現在の状況

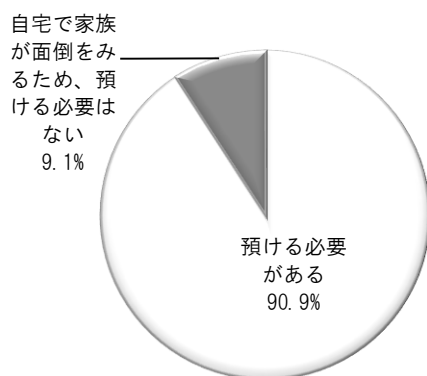


出産を控えた方  
n= 42人

〈問8〉 仕事をしていなかった・退職した方の出産後の就労希望



〈問 9〉 仕事の際に子どもを預ける必要性



出産を控えた方  
n= 11人

## 目 次

第2章 子育て家庭を取り巻く環境.....	15
1 子育ての環境について .....	15
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況 .....	15
(2) 子育てに関する相談者の状況 .....	17
(3) 出産について.....	18
2 保護者の就労状況.....	20
(1) 母親の就労状況 .....	20
(2) 父親の就労状況 .....	25
(3) 出産を控えた方の就労状況.....	29